

来週の聖句を紹介します。

「惜しんでわずかししか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです」コリントの信徒への手紙2 9章6節です。

私が考えるこの聖句の意味とは、「わずかししか努力をしない人は、結果として残ることもわずかで、自分のできる最大限の努力をした人は、結果も大きなものが得られる」ということだと考えます。私たち3年生は6月に総括テストが行われ、卒業や進路に関わる成績が出されます。総括テストという大きなテストで良い成績を収めるためには、必ずテストに対する小さな姿勢の変化があるからこそ繋がっていくのであり、小さな姿勢の変化、「努力」の積み重ねがないと目標を達成できないと思います。普段の単元テストの勉強から手を抜かず力を入れて取り組む、いつもはスマホを使っている時間でも気持ちを切り替えて勉強に取り組む、このような少しの行動の変化から目標実現への可能性が高まっていくと考えます。目標に向かって精一杯の努力をすれば、結果は必ず良い方向でかえてきます。自分がいまできる努力をして大きな成果へと繋がられるようにしていきたいです。

3年E組 遠藤 凜心